

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護倫理学	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	☑・不可 (下記6,7参照)
科目責任者	福井 幸子		
担当者	福井 幸子、佐藤 愛、新改 法子、角田 ますみ (杏林大学)、 安高 久美子 (産業医科大学緩和ケアセンター)		
1. 科目のねらい・目標 ねらい ヘルスケアの現場で直面する倫理的課題を把握し、倫理的意思決定能力を高めるために、倫理に関する基本的概念や理論を学び、倫理的課題への対応について探求する。また、研究における倫理的配慮について学ぶ。 目標 1) 倫理的感受性を高め、ヘルスケアの現場に存在する多様な倫理的課題について説明できる。 2) 倫理的分析と意思決定の方法を学び、実践の中で遭遇する倫理的課題に対して課題解決に向けた行動について説明できる。 3) 人を対象とした医学研究や看護研究を行う際に必要な、倫理的配慮について説明できる。			
2. 授業計画・内容 1) 授業計画 第1-3回 生命倫理と看護倫理について [福井幸子] 第4回 いのちの始まりにおける倫理的問題 [佐藤 愛] 第5-6回 人生の最終段階における倫理的問題 [角田ますみ] 第7-8回 倫理的分析と倫理的意思決定① [新改法子、福井幸子] 第9-10回 倫理的分析と倫理的意思決定② [安高久美子] 第11-12回 看護における倫理的課題とその対応 [新改法子] 第13-15回 倫理的問題に対応する看護管理者の役割 [福井幸子] 看護臨床研究における倫理的配慮 2) 授業内容 配布資料を用いた講義と、事例分析の演習			
3. 教科書、参考書 必要時、お知らせします。			
4. 成績評価方法 ① 課題プレゼンテーション、ディスカッション (30%) ② レポート (70%)			
5. 受講要件 なし			
6. 社会人学生に対する配慮 土曜日開講、夜間開講を予定しています。講義の日時およびオンライン授業等は相談に応じます。			
7. その他 本科目は、対面による授業を基本としますが、遠隔（オンライン）による開講を希望する学生がいた場合は、日時・方法などを検討し、事前に連絡します。			